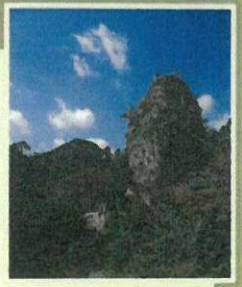
岩屋公園見聞録

■ この番号は公園内の案内版に対応しています。

2 竹地区の棚田

竹地区には、約400枚の棚田があり、全て石垣で補強してあります。最も古い石垣は、安土・桃山時代のものだといわれています。その美しさから日本の棚田百選にも選ばれています。

3-1 岩屋の奇岩群

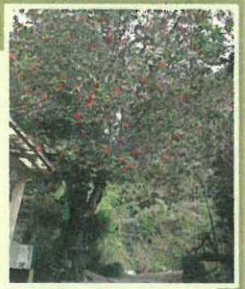


岩屋神社一帯は、林立した奇岩群と窟群が形成する山地で、植物相も周辺地域にない特殊なものがあります。昭和25年には、耶馬日田英彦山国定公園に指定されました。

3-2 玄海ツツジ

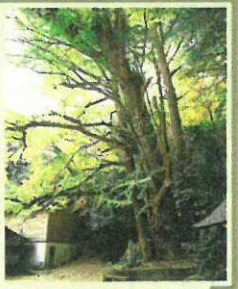
昭和36年に福岡県天然記念物に指定された岩屋の玄海ツツジは、朝鮮半島の金剛山、対馬一帯にしかない珍しいものです。彼岸ツツジとも呼ばれ、不思議なことに彼岸の中日には、薄桃色の花が咲くそうです。

3-3 大ツバキ熊谷



高さ約18m、幹周り約1.8mで、これだけの大きなものは珍しい。真紅橙色と濃黄橙色の花芯をもつ大輪の花が、毎年3月初旬から4月下旬にかけて咲き誇ります。落ちた花は必ず花芯を上に向け、地上で再び咲いているように見えます。

3-4 大公孫樹（いちょう）

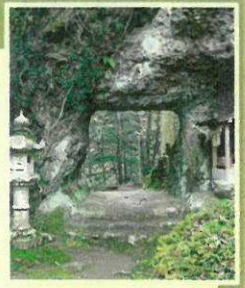


大公孫樹は岩屋神社のご神木の一つで、樹齢600年とも700年ともいわれる高さ約36m・幹回り約6mのイチョウの巨木です。二度の宝珠山焼き討ちにも耐え、岩屋神社の盛衰と人々の祈りを見つめてきました。

3-5 首無し地蔵

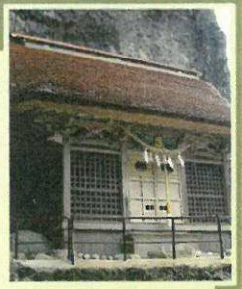
宝珠山岩屋には、多くの仏像が各所にありましたが、廃仏毀釈運動によって仏像群などは谷底に投げ捨てられたりしました。その後、村民によって拾い出された153体の石像には首がほとんどありませんでした。

3-6 馬の首根岩と洞門



この洞門は、タガネの跡が残っています。江戸時代末天保年間に岩屋社の別当坊で、岩屋神社の縁起を書き残した岩屋坊良辨が彫ったものです。この岩は一枚岩で、馬の首根岩に続いています。

3-7,8 岩屋神社本殿 御神体



元禄11（1698）年に建立されました。外殿は大岩の権現岩の窪みを利用して作られ、内陣の前には鷹に包まれた御神体の宝珠石が祀られています。

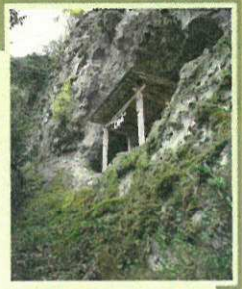
3-9 針の耳と梵字岩

この岩の割れ目は、針の耳と呼ばれています。親不幸者が通ると、上から石が落ちるとの伝承があります。また、裂け目の梵字岩には、修験道の開祖の役行者小角が彫ったという梵字がかすかに残っています。

3-10 熊野神社

貞享3（1686）年に村民が建立した板葺き三間社流見世棚造りの社殿は、天狗が蹴って穴を空けたという熊野岩の険しい岩場に立てかけた懸造りです。

3-12 大日社



粟島社ともいい、岩屋神社の境内社で、少彦名命・大日霊尊を祀っています。かつては、ここでも、修験道の山伏達が、冥想、断食などの厳しい修行を行なっていたものと思われます。

4 釈迦岳トンネルと岩屋湧水

JR日田彦山線は、石炭輸送のため計画され、昭和31年（1956）年3月15日には、トンネル完成。工事で断ち切られた水脈が釈迦ヶ岳にしみ込み、岩盤で濾過され岩屋湧水となりました。

ACCESS

ＪＲは、平成29年7月九州北部豪雨災害の影響によりＪＲ添田駅からは代行バスでの運行です。

JRで

- 博多駅 → 筑前岩屋駅（徒歩5分）：約2時間 福北ゆたか線（篠栗線）・後藤寺・日田彦山線（博多・新飯塚・田川後藤寺 経由）
- 博多駅 → 筑前岩屋駅：約2時間 鹿児島本線・久大線・日田彦山線（博多・久留米・夜明 経由）
- 小倉駅 → 筑前岩屋駅：約2時間 日田彦山線

バスで

- 福岡 → 大行司（車8分）：約1時間 高速バス
- 杷木 → 大行司：25分 両筑バス

車で

- 福岡 → 岩屋公園：約1時間 都市高速と高速道路利用 大分自動車杷木I.Cから 25分
- 北九州 → 岩屋公園：約1時間40分（香春町・大任町・添田町・小石原 経由）国道322号→県道52号（八女香春線）→国道500号→国道211号

周辺MAP

◆東峰村ホームページ
http://toho-info.com/

◆東峰村Ｆａｃｅｂｏｏｋ
https://www.facebook.com/toho.village.kikaku/